

# 平成25年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第64回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会  
第58回全国高等学校自転車道路競走中央大会

## 監督会議資料

2013 未来をつなぐ 北部九州総体



吹き初たれ  
若人の風  
北部九州へ

日田市・別府市実行委員会

# トラック・レース, ロード・レース共通事項

2013年(公財)日本自転車競技連盟規則, および大会特別規則で実施する。なお、2013年競技規則解説を監督および競技者は熟読しておくこと。また、下記事項に示された各場所については「参加案内」に記載してあります。

(高体連ホームページ<http://www.hs-cycling.com/>)

## 1. ライセンスコントロール(選手・監督受付)

- (1) 日 時 7月30日(火) 10:00~11:00
- (2) 場 所 日田市民文化会館「パトリア日田」1Fギャラリー
- (3) 要 領 各学校の監督は上記の場所・時間内に選手ライセンスを持参し、必要があれば申請用紙を提出する。なお、ライセンスの返却は、開会式終了後受付場所において行う。  
ライセンスは配布されたIDカードの裏側に入れ、ロード、トラック会場では見えるように携帯すること。

## 2. 記録の配信

- (1) スタートリスト, リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配布はしない。
- (2) リザルトは, 大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細は, プログラムに掲載する。

## 3. ヘルメット

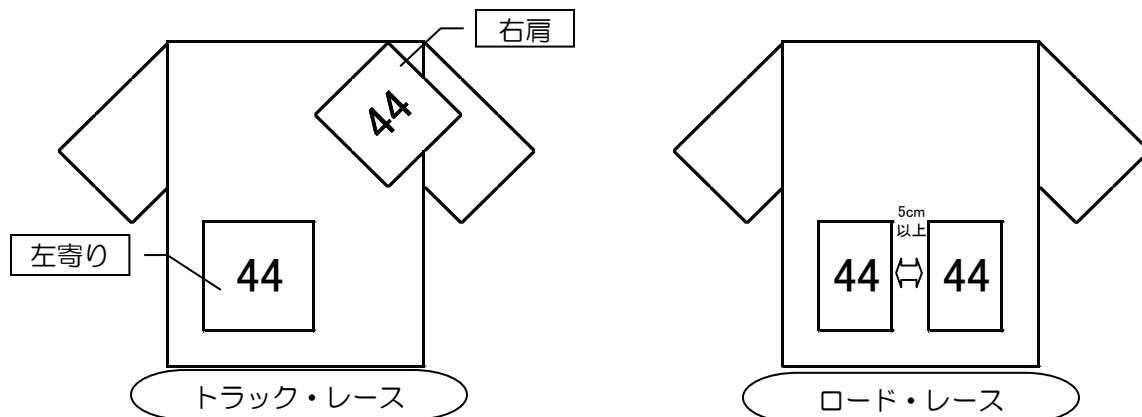
- (1) 選手はJCF公認およびJKA認定(競輪用)ヘルメットを練習時でも使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット, 劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- (2) 公認エアロヘルメットは, 200mTT, 1kmTT, 3kmlP, TP, TS種目において競技時のみ使用を認める。

## 4. 使用フレーム

- (1) ブリヂストン製PCPT=TTタイプについては使用を認めるので, 申請を行わなくてよい。
- (2) 身体形態上の理由により, 規定にあわない自転車を使用する競技者は, ライセンスコントロール(選手・監督受付)時に申請用紙(所定の用紙)を学校単位で提出する。

## 5. ゼッケン

- (1) ボディ・ナンバーは下図を参考とし, 1枚の場合は腰部中央に取り付ける。
- (2) ロード・レースは①ボディ・ナンバー(シード選手は異色)②フレーム・プレート(ヘッドチューブ左側またはサドル下)③ヘルメット・ナンバーシール(左右)を使用する。



# ロード・レース

## 1. 招集・検車

- (1) 日 時 7月31日(水) 7:50~8:40
- (2) 場 所 オートポリス第1~第3パドック
- (3) 要 領 招集所で装備の確認と自転車の検査・チップの検査と動作テストを受け、サイン・ボードに記入する。  
ギア比チェックは上位完走者にゴール後実施する。(7. ギア比について参照)

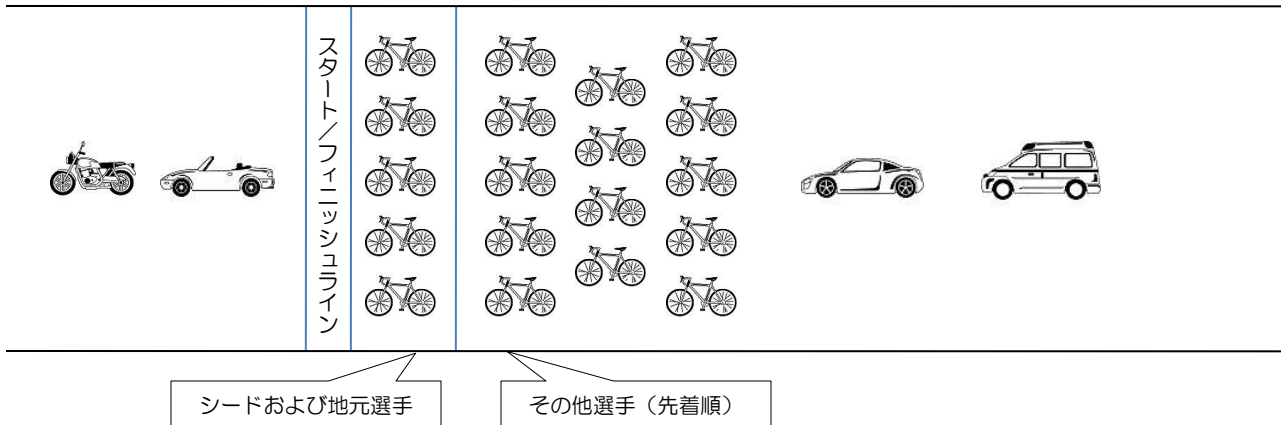
## 2. スタート時刻

9:00 (選手は15分前に集合)

## 3. スタート位置

前年度入賞者および選抜大会入賞者はシード選手として最前列に位置する。その横には開催地競技者とし、その他の競技者は2列目以降先着順とする。(下図参照)

- 【シード選手】 黒枝咲哉(日出暘谷・日出総合) 伊東泰輝(別府商) 塩田航平(栄北)  
山本大喜(榛生昇陽) 岡本 隼(和歌北) 横山航太(篠ノ井)  
原井博斗(祐誠) 中野尻祥(和歌北) 橋詰 丈(昭和一学園)  
※本年度のシード選手は黄色地に赤文字のゼッケン(1桁番号)を使用する。



## 4. 補給所

以下の要領で各校からの選手への補給を認める。

- (1) 補給エリア・・・最終コーナー手前, 22番ポスト~23番ポスト付近の左側のみ認める。  
補給エリアの始点および終点は看板により明示する。
- (2) 補給員数・・・人数の制限は設けませんが, 補給員はIDカードを必ず着用のこと。
- (3) 補給周回・・・6周回目から13周回目までとする。
- (4) 補給員移動・・・補給エリアへはコース隣接道路を徒歩で移動(約500m)すること。  
なお, コースを横断する際は走行選手に注意すること。

## 5. 関門所での打ち切り

- (1) 関門所・・・内周から外周への出口と外周から内周への入り口2箇所に関門所を設置する。
- (2) 打ち切り・・・各周回8位選手を含む集団から5分遅れた競技者を失格とする。ただし, レースの状況により, 相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。失格となった競技者は, ボディ・ナンバー1枚, 計測チップを外し, 関門審判員に渡す。なお, 最終周回においても打ち切りを行う。

## 6. 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラル・カー（2台）、ニュートラルバイク（3台）インフォメーション・バイク（2台）を主催者で準備する。
- (2) チームスタッフからの機材補給は認めない。
- (3) 提供を受けた機材の返却は、選手招集所・自転車検査所のパドックへフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

## 7. ギア比について

- (1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。
- (2) ゴールした選手は、「第2関門所」付近のゴール後ギア比チェック所（参加案内P13参照）において競技役員の誘導に従い、ギア比チェックを受けること。（上位20位程度）

## 8. 計測チップの配付および返却

- (1) 配付日時 7月30日（火）監督会議終了後
- (2) 配付場所 監督会議場前
- (3) 返却日時 7月31日（水）レース終了後
- (4) 返却場所 完走選手：パドックNo.45チップ回収所  
打切選手：第1関門または第2関門
- (5) その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費請求することもある。

## 9. 表彰式

- (1) 開始予定時刻 13:00
- (2) 会場 オートポリス・ビクトリータワー（雨天の場合はドライバーズサロン）
- (3) 関係者の参加 表彰式へは保護者・応援者も参加することが出来る。

## 10. その他

- (1) 選手・監督・大会関係者の車両は、パドックビル前「選手・監督駐車場」「大会関係車両駐車場」へ、保護者ならびに一般観戦者の車両は「イベント広場P1駐車場」を利用すること。ただし、パドックビル前駐車場は、競技終了まで車を移動することは出来ない。
- (2) 競技観戦の際は、役員・係員の指示に従い、走路へ進入・横断しないように各校より保護者等へ事前に周知徹底すること。
- (3) 関係者は常に熱中症対策に心がけること。

# トラック・レース

## 1. 予備選手への変更

所定の用紙で総務委員長へ申請すること。（補欠選手への変更は認められない。）

- (1) 受付日時 7月31日（水）16:00~17:00
- (2) 受付場所 別府競輪場 競技・運営本部（参加案内P20参照）

## 2. 禁止事項

- (1) 走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることを禁止する。
- (2) レーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- (3) 選手村以外での選手ピット設営は禁止する。

## 3. 走路入退場方法

- (1) 入 場 バック側「入場口」のみとする。
- (2) 退 場 バック側「敢闘門」のみとする。

## 4. 招集・自転車検査

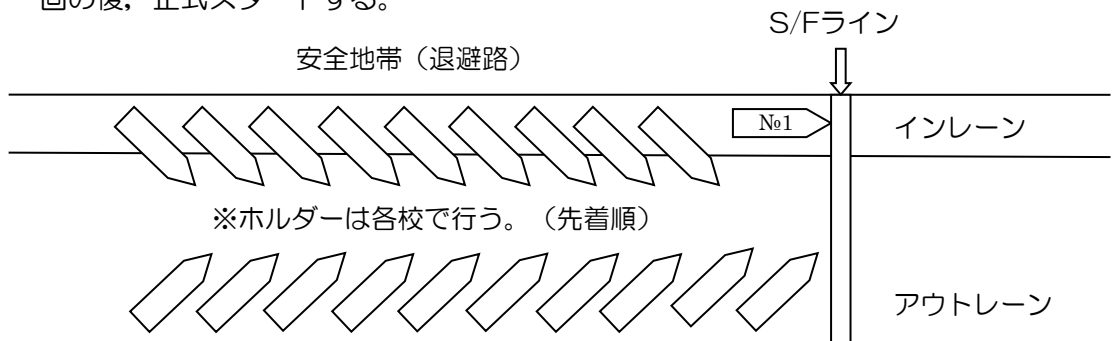
- (1) 招集・自転車検査所は選手村～入場口の間に設置し、出場および装備の確認並びに自転車検査を実施する。
- (2) 招集時間は各自の出走予定時刻の15分前までとする。
- (3) 団体種目（TP・TS）へ出場する学校は、出走日の8:30までに招集所に出走するメンバーを届け出ること。ただし、届け出た後の指定練習中に出走選手が落車等の事故に巻き込まれた場合は、速やかに競技運営委員長へ申し出ること。
- (4) 自転車検査を受けた後は速やかにバンクへ入場すること。

## 5. ヘルメット・カバー使用種目

4km速度競走、ポイント・レース、ケイリン、スクラッチ

## 6. スタート方法

- (1) 発走機（スターティング・マシーン）使用種目  
1kmTT, 3kmlP, チーム・パーシュートおよびチーム・スプリントの第1走者  
※なお1kmTTと3kmlPについてはカウントダウンは30秒とする。
- (2) ホルダー  
スプリント1/8決勝以降およびスクラッチ、ポイント・レースのホルダーは各校で行い、その他の種目は競技役員が行う。ただし、ホルダーを準備できない場合は発走員に申し出ること。
- (3) ポイント・レースおよびスクラッチ  
スタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯（退避路）で乗車し、各校のホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置に着く。ただし、ヘルメット・カバーがNo.1の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、正式スタートする。



## 7. ケイリン

- (1) ケイリンの周回数は5周回、残り1. 5周回のバックストレッチ付近でペーサは離脱する。なお、離脱時のスピードは50km/hとする。

## 8. パーシュート

- (1) 予選はタイム・レースとして実施する。選手（チーム）が追い抜かれそうな場合は先頭交代を禁止し、追い抜きが完了するまで体制を保ち走行する。追走した場合は失格とする。
- (2) 予選ラウンドにおいては、追抜かれた選手（チーム）も完走する。

## 9. 勝ち上がり方法

### (1) スプリント

予選はタイム上位12名を勝ち上がりとして選出する。競技順は、1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝（以後5～8位決定戦以外2回戦制）、1/2決勝、順位決定戦とする。

### (2) 4km速度競走

各組予選（組数5）より上位4名を選出し、準決勝（2組）を行う。準決勝は各組より上位5名を選出し、決勝戦（10名）を行う。

### (3) ポイント・レース

各組予選（組数2）より上位10名を選出し、決勝戦（20名）を行う。

### (4) ケイリン

1回戦（組数8）より上位2名を2回戦に選出する。1回戦敗者により敗者復活戦（組数6）を行い、上位2名を2回戦に選出する。2回戦（組数4）より上位3名を準決勝へ選出する。準決勝（組数2）より上位3名を決勝へ、下位3名を7～12位決定戦へ選出し、1位から8位までの入賞選手を決定する。

### (5) スクラッチ

各組予選（組数3）より上位6名を選出し、決勝戦（18名）を行う。

## 10. ギア比について

- (1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。
- (2) ギア比チェックは、上位入賞者およびランダムに選出された対象者に対し実施する。競技終了後のギア比チェックはバンク内で行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

## 11. バンク内での指示

バンク内からの指示は出来ない。ただし、パーシュート種目、タイムトライアル種目について1コーナーと3コーナーにある審判台付近での指示を1名のみ認める。

## 12. 種目別表彰

トラック・レースの表彰は、メインスタンド1F特設表彰ステージにおいて実施する。対象競技者は、指定された時間の15分前までに登録されたジャージ着用で、入賞選手集合場所（参加案内P20）に集まること。なお、団体種目の1位～3位は出走者全員、4位～8位は代表者1名が参加のこと。

## 13. その他

- (1) チーム・パーシュートにおいて、全国高校総体出場権を獲得した以降にアクシデントによって4名の競技者での出走が出来ない場合は、総務委員長に申請し3名の競技者での出走許可を得ること。
- (2) ホーム、バックからの同時スタート種目では、欠場があっても発走組は変更しない。しかし、欠場が多数ある場合はこの限りではない。